

ろうそく、線香の取扱いは特に注意！！

お盆の時期を迎え、仏壇等で火を使用する機会が多くなります。

「ろうそく」や「線香」の火気の取扱い、また花火等の火の後始末を確実に行うようご注意ください。

【予防のポイント】

- ・ろうそくを使用しているときは、その場を離れない。
- ・ろうそくの転倒に備えて、周囲には燃えやすい物を置かない。又は距離を取って置く。
(転倒しなくとも、炎の位置が変わることで接触する場合もあるので注意)
- ・ろうそくが折れて火種が床や座布団などの可燃物に着火することがあるので、使用前に状態を確認する。
- ・火のついた線香が香炉から経机や床にこぼれ落ちないように香炉皿を使用する。
- ・ろうそくや線香を供えた後に、仏壇の奥に手を伸ばした際に衣服に着火することがあるので注意する。
- ・風の強いときは花火をしない。
- ・説明書をよく読み、注意事項を必ず守る。
- ・水バケツを用意し、使った花火は必ず水につける。

大館市消防本部
担当：予防課
TEL：43-4151

